

伊藤通算4勝目

スキージャンプ 15日
W杯
 女子は、韓国の平昌で五輪プレ大会を兼ねた個人第17戦(HS109)があり、20歳の高梨沙羅(クラシ)が224.9点で2位に入り、2戦を残し2季連続4度目の個人総合優勝を決めた。スキージャンプの4度の個人総合優勝は、1990年代にノルディック複合で3連覇した萩原健司さんを上回り、日本勢最多。高梨は1回目が97.5点で首位に立ったが、2回目に94点と伸ばせなかった。

沙羅 4度目総合V

1回目で首位に立ち、最終ジャンプとして飛んだ2回目。ランディングバーンを滑り終えた高梨が思わず、しゃがみ込んだ。「踏み切るタイミングが遅れてしまった。ここで(ミスが)出るかも」ともともと助走速度は速くないが、他のトップ選手に比べ、この日もスピードが出ていなかった。踏み切る間合いも合わず、「力が合に伝わっていない。欧州遠征を切り上げて日本で調整し、消したはずの迷いがまた、頭をもたげてきた。今季の目標の一つに掲げていた個人総合優勝を決めて、声は沈んだ。また、「スキージャンプは悔しい気持ちでいっぱいなんです。」「これまで感情を口にする高梨も珍しく、



高梨沙羅の1回目のジャンプ=いずれも林敏行撮影



表彰台で笑顔の伊藤有希(右)と高梨沙羅

「悔しい」2位 再び迷い

平昌での試合には特別な思いがあった。サマージャンプで1度飛んだことはあったが、水の助走路では初めて、4位に沈んだ。リチ五輪から3年。来年の五輪本番を見据え、いいイメージを植え付けておきたかった。「台の感触はつかみかけていたと思ったが、対応できていなかった。完全につかみ切れていない」と狙った試合を勝ちきれなかった。スキージャンプの通算最多勝利に並ぶかという注目され、重圧はいつも以上に大きかった。「結果を出せなかったのは準備不足。もっと深く考えないといけない」

スキージャンプでの日本選手総合優勝

年	優勝者	種目
1993	萩原健司	ノルディック複合
94	萩原健司	ノルディック複合
95	萩原健司	ノルディック複合
2013	高梨沙羅	ノルディック複合
14	高梨沙羅	ノルディック複合
16	高梨沙羅	ノルディック複合

萩原健司さんを抜く

スキージャンプで4度目の個人総合優勝を挙げた高梨は、ノルディック複合で1992～93年から3連覇した萩原健司さんを抜いて日本人最多となった。萩原さんは「女子スキージャンプが普及してきたにもかかわらず、世界のトップで居続ける。すごい」とたたえた。

平昌では16日にも試合がある。不安は早めに消しておきたい。(※井正基)

平昌での試合には特別な思いがあった。サマージャンプで1度飛んだことはあったが、水の助走路では初めて、4位に沈んだ。リチ五輪から3年。来年の五輪本番を見据え、いいイメージを植え付けておきたかった。「台の感触はつかみかけていたと思ったが、対応できていなかった。完全につかみ切れていない」と狙った試合を勝ちきれなかった。スキージャンプの通算最多勝利に並ぶかという注目され、重圧はいつも以上に大きかった。「結果を出せなかったのは準備不足。もっと深く考えないといけない」

平昌では16日にも試合がある。不安は早めに消しておきたい。(※井正基)

平昌での試合には特別な思いがあった。サマージャンプで1度飛んだことはあったが、水の助走路では初めて、4位に沈んだ。リチ五輪から3年。来年の五輪本番を見据え、いいイメージを植え付けておきたかった。「台の感触はつかみかけていたと思ったが、対応できていなかった。完全につかみ切れていない」と狙った試合を勝ちきれなかった。スキージャンプの通算最多勝利に並ぶかという注目され、重圧はいつも以上に大きかった。「結果を出せなかったのは準備不足。もっと深く考えないといけない」

平昌では16日にも試合がある。不安は早めに消しておきたい。(※井正基)

平昌での試合には特別な思いがあった。サマージャンプで1度飛んだことはあったが、水の助走路では初めて、4位に沈んだ。リチ五輪から3年。来年の五輪本番を見据え、いいイメージを植え付けておきたかった。「台の感触はつかみかけていたと思ったが、対応できていなかった。完全につかみ切れていない」と狙った試合を勝ちきれなかった。スキージャンプの通算最多勝利に並ぶかという注目され、重圧はいつも以上に大きかった。「結果を出せなかったのは準備不足。もっと深く考えないといけない」

平昌では16日にも試合がある。不安は早めに消しておきたい。(※井正基)

平昌での試合には特別な思いがあった。サマージャンプで1度飛んだことはあったが、水の助走路では初めて、4位に沈んだ。リチ五輪から3年。来年の五輪本番を見据え、いいイメージを植え付けておきたかった。「台の感触はつかみかけていたと思ったが、対応できていなかった。完全につかみ切れていない」と狙った試合を勝ちきれなかった。スキージャンプの通算最多勝利に並ぶかという注目され、重圧はいつも以上に大きかった。「結果を出せなかったのは準備不足。もっと深く考えないといけない」

菅野新球手心え

「巨人」エース菅野が、実戦形式の打撃練習に登板した。打者10人を相手に48球を投げ、2安打4三振3盗塁。自主トレから取り組んでいる新球のチェンジアップで空振りや奪う場面もあり、「打者の体勢を崩せたいし、理想の球になってきた。現段階では合格点と納得した。日本代表でも先発の柱として期待される。27歳。3月に開催されるWBCに向け、順調に調整を進めている。」

大谷我慢の日々

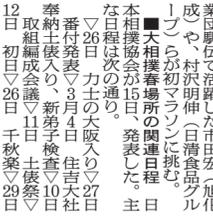
「日本ハム」右足首を痛めて別メニュー調整の大谷が、スパイクを履いて体を動かした。いつものランニングシューズからは一歩前進。キャッチボールのと

羽生追う チェンとチャン

四大選手権 16日、2018年平昌五輪のプレ大会として韓国の江陵アイスアリーナで開催。優勝候補の羽生結弦(ANA)や宇野昌磨(中京大)、若手でも上位を争うのが、若手で成長著しいネサン・チェン(米国)と、ベテランのパトリック・チャン(カナダ)だ。先月の全米選手権で初優勝した17歳のチェンは、羽生のことを「僕にとってアイドルのような存在」と語り、憧れの羽生をジャンプ力で超えようとしている。羽生がフリーで跳ぶ4回転は、ルールで跳ぶ1度ずつ、サルコ2度。それに対してチェンは、全米選手権のフリーでルッツ、フリップ、サルコ1を1度ずつ、トリプルを2度、成功させた。四大大陸ではサルコを外す予定だが、

17歳、ジャンプ好調 ■ 26歳、高い技術力

羽生は「限界のプログラムに挑戦している方々を尊敬している。ライバルとの対戦を楽しみにしている。(後藤大輔) 福口は12番滑走、女子ショートプログラム(SP)の滑順抽選で15日、大会場で行われ、全日本選手権3位の三原舞依(神戸ポートアイランド)が23人中9番、2位の樋口新葉(東京・日本橋女子館高)が12番、同5位の本郷理華(那珂)が18番滑走となった。



「フランス」に0-4で大敗。香川真司が所属するドルトムント(ドイツ)は、敵地でベンフィカ(ポルトガル)に0-1で敗れた。香川はベンチ入りしたが出場しなかった。

「フランス」に0-4で大敗。香川真司が所属するドルトムント(ドイツ)は、敵地でベンフィカ(ポルトガル)に0-1で敗れた。香川はベンチ入りしたが出場しなかった。

「フランス」に0-4で大敗。香川真司が所属するドルトムント(ドイツ)は、敵地でベンフィカ(ポルトガル)に0-1で敗れた。香川はベンチ入りしたが出場しなかった。

「フランス」に0-4で大敗。香川真司が所属するドルトムント(ドイツ)は、敵地でベンフィカ(ポルトガル)に0-1で敗れた。香川はベンチ入りしたが出場しなかった。

「フランス」に0-4で大敗。香川真司が所属するドルトムント(ドイツ)は、敵地でベンフィカ(ポルトガル)に0-1で敗れた。香川はベンチ入りしたが出場しなかった。

「フランス」に0-4で大敗。香川真司が所属するドルトムント(ドイツ)は、敵地でベンフィカ(ポルトガル)に0-1で敗れた。香川はベンチ入りしたが出場しなかった。

「フランス」に0-4で大敗。香川真司が所属するドルトムント(ドイツ)は、敵地でベンフィカ(ポルトガル)に0-1で敗れた。香川はベンチ入りしたが出場しなかった。

「フランス」に0-4で大敗。香川真司が所属するドルトムント(ドイツ)は、敵地でベンフィカ(ポルトガル)に0-1で敗れた。香川はベンチ入りしたが出場しなかった。

明治安田生命 Jリーグは、今年もみんなの地元を元気にします。

地域から、日本を元気にしたい。

だから私たちは、Jリーグ全54クラブを応援しています。

地元のJクラブ等のみなさまの協力を得て2016シーズンは、小学生向けのサッカー教室を全国で160回開催、約13000人のお子さまや保護者の方々が参加。そして、当社従業員とお客さまあわせて22万人の試合観戦、応援グッズの配布など。

3年目の今年も、Jリーグと共に地域を盛り上げていきます。

明治安田生命はタイトルパートナーとして、Jリーグを応援しています。